

ノンスキッド施工前の共通手順の説明

基本手順



1. 施工環境・下地の確認

《環境の確認》

施工場所の温度や湿度が施工時及び施工後に大きく影響します。特に冬場の施工に関しては作業環境温度の管理が重要となります。温度10～25℃、湿度75%以下が望ましく、施工前後は接着剤の種類に応じた養生時間を取るようになさってください。また、接着剤の保管温度も5℃以下にならないようになさってください(変質・分離する場合もあり、0℃以下では凍結して使用不可になる場合もあります)。

《下地の確認》

●平滑性

下地に不陸や亀裂、段差、隙間などがなく、床全体が平滑であるかを調べてください。平滑性に欠け凹凸のある床は、接着剤を均一に塗布できません。凹部に接着剤だまりをつくり、ジョイントから接着剤がはみ出す原因になったり、溶剤によるガスで膨れの原因になったりします。凸部は接着剤の塗布量が少なくなることで接着力が低下したり、施工後の部分的な摩擦の原因になり、耐久性に支障をきたすことになります。階段の蹴上げ部も不陸を必ずチェックして基準値内におさめるようになさってください。

●汚れ

下地の汚れは、接着剤の接着力を落とすばかりでなく、床材の変色を招く場合があります。そのためゴミや埃、モルタルかすが残っていないか、油や錆がついていないかなどを調べてください。特に塗料や防錆剤、防錆剤、オイルステン配管用接着剤などの油を含む汚れは、施工後に床材の変色・変質を起こす恐れがあるので注意してください。

●湿気

下地の乾燥不足は、どんな接着剤でも施工不可能です。水分計やポリエチレンフィルム、バーナーなどを使い下地の乾燥状態を判断してください。下地の乾燥とともに立地条件、下地自体の構造、素材についても注意してください。

●強度

下地の粉吹き・ざらめ・浮きなどがなく十分な強度が必要です。

●取り合い

床下地の壁面に対する取り合いを確認してください。確認項目は以下のとおりです。

- ・床面と壁面の取り合い部に四方でレベルの狂いがなくないか。
- ・扉開口部の床面のレベルが、床材の厚み分上がっても問題ないか。

2. 清掃

床にコンクリートかすのゴミ、埃などが残っていると接着剤の塗布に支障をきたすばかりでなく、接着剤の接着力不足の原因になったり、施工後の仕上がりにも影響します。大きなゴミから取り除いた後、埃やチリなどを掃き取ってください。床面積が広い場合、一度に清掃すると場所によって十分にきれいにならなかつたり、施工中に再び汚れたりするので、当面施工に必要な部分から清掃してください。清掃後は工事関係者の出入りを禁止し、ゴミや埃を持ち込まないようにしてください。

3. 下地調整

下地の状況に応じて補修、表面補強を適切に行ってください。またその際に使った補修材、補強材によって下地自体の性能が変わることもあるため注意が必要です。

4. 使用商品の確認

施工前に必ず、商品番号、ロット番号、サイズ、数量を確認してください。色ムラを防ぐために、できる限り取り合いのある箇所は同ロットの商品で流れ方向を合わせて施工してください。

下地の乾燥状態の判断方法

■水分計を使用する方法

水分計の接地面が平らでゴミやチリがなく、通風のない場所を選んで下地水分の測定を行ってください。

■ポリエチレンフィルムを利用する方法

約1m角のポリエチレンフィルム(ゴミ袋など)を下地に広げ、空気が逃げないように四方をガムテープで貼り、24時間放置する。その後、フィルム内側に付いた水滴や下地の変色状態を観察し判断してください。

■バーナーを利用する方法

バーナー(トーチランプ)を用い下地表面をあぶり、水滴の有無や変色状態を観察し判断してください。

■株式会社ケット科学研究所製「コンクリート、モルタル水分計 HI-520-2」による水分測定方法(表面から40mm程度まで)

●測定手順

- ①測定対象床下地から、測定対象箇所を適宜選定する。
- ②水分計の各ダイヤルを以下の通りセットする。
D.MODE(厚さ:40mm程度、温度:AUTO設定)
- ③水分計を測定対象箇所の床下地表面に置き、表示値を読み取る。
測定は水分計を置く位置を適宜ずらしながら数回行い、平均的な表示値を求めることとする。

●測定結果の評価:測定表示値を左記表グレードで判断し施工方法の判定を行う。

水分計*		水分計以外での確認方法		施工方法の目安
グレード	選択 D.MODE 従来の水分指標	ポリエチレンフィルム	バーナー	
I	440未満	8%以下	24時間後変化なし	一般工法
IIa	440以上 620未満	8~10%	24時間後黒ずみ (輪郭不明瞭)	耐湿工法推奨
IIb	620以上	10%以上	24時間後に変色結露が 見られる	施工不可

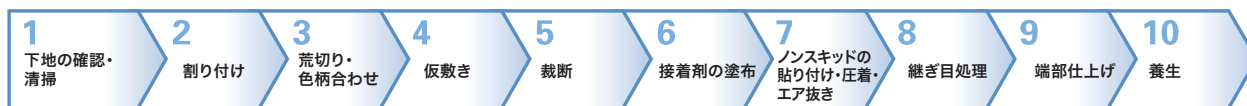
*使用水分計:株式会社ケット科学研究所
高周波静電容量式水分計「HI-520-2」D.MODE選択による

測定対象範囲	測定対象範囲		消費電力	350mW
	測定対象	測定範囲		
測定対象範囲	コンクリート	0~12%	72(W)×146(D)×118(H)mm,0.39kg	ソフトケース、電池、取扱説明書
	モルタル	0~15%		
	ALC	0~100%		
	人工軽量骨材コンクリート	0~23%		
	石膏ボード	0~50%		
	ケイ酸カルシウム板	0~15%		
	D.MODE	0~1999		
S.MODE	0~1100			
測定方式	高周波容量式(20MHz)	消費電力	350mW	
表示方法	デジタル(LCD、表示最小桁0.1%)	寸法・質量	72(W)×146(D)×118(H)mm,0.39kg	
電源	電池 9V(006P アルカリ)×1	付属品	ソフトケース、電池、取扱説明書	



ノンスキッド施工説明

基本手順



1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。

※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。

※詳細は「施工前の共通手順」(P.7)を参照してください。

2. 割り付け

ジョイントが多いと仕上がりが美しくないため、出来る限りジョイントを少なく割り付けてください。長手方向にジョイントを合わせてください。また小さなサイズは、美観を損ねるだけでなく、接着不良による浮き剥がれの原因になるため出来る限り発生しないように割り付けてください。出入口は踏み込みが多く、ジョイントから痛みや剥がれが起きやすいため、出来る限りジョイントをしないようにしてください。



3. 荒切り・色柄合わせ

施工場所の形などに合わせて割り付けし、それに基づいて実寸法より5cmほど長めに荒切りしてください。

柄物は、1柄分余分に長く裁断し柄合わせをしてください。丈継ぎの必要がある場合は、さらに1柄分長く裁断し、丈継ぎのジョイントと合うように柄を合わせてください。

4. 仮敷き

現場の環境になじませ、運搬時の巻き癖、伸縮などを取り除くために荒切りして仮敷きしてください。特に低温時や寒冷地の場合、シートが硬くなっているため十分な仮敷き時間をとってください。

5. 裁断

《巾定規による壁際の裁断》

巾定規は、壁面に対して床材の端が、ピッタリと沿うように裁断する道具です。巾定規の先端にカッターナイフをあて、壁方向に沿わせるように力を加えながら手前方向にカットしてください。



《ジョイントの裁断》

ジョイント部は隙間なくピッタリと納まることが大切となるため、落とし込みまたはリノカッターなどを用いて、けがいてからカットしてください。

6. 接着剤の塗布

ウレタン樹脂系溶剤形接着剤WPX (BB-479・480)・WG (BB-601～603)を使用します。塗布する際は、専用クシ目を使用してムラがないように均一に接着剤を塗布してください。

《接着剤の塗布の仕方》

周囲の壁際を先に切り込んでからシートを接合部から幅方向に向かって左右に折り返し(幅折り返し)、その部分に接着剤を塗布し圧着してください。そして残りの半分をそれぞれ折り返し接着してください。

7. ノンスキッドの貼り付け・圧着・エア抜き

オープンタイムを取り、貼り付け可能時間内にシートを貼り付け、しごき板でエア抜きしてから圧着時間内にローラーをかけてください。空気だまりがある場合は、しごき棒などで目地の方向に向かって押し出してください。空気だまりは下地の湿気の影響を受けて膨れの原因になりやすいため、小さなものでも見逃さず必ず取り除いてください。ヒートガンやトーチランプなどを使用する場合は、熱風の温度が高すぎると、シート表面が溶解しツヤが出る場合がありますので、温度に注意して施工を行ってください。

8. 継ぎ目処理

継ぎ目処理は専用の溶接棒を用いて熱溶接をしてください。

●溝切り

シートの貼り付け・圧着の後、接着剤が完全に硬化してから、継ぎ目部分をU字もしくはV字に溝切りします。

※溝の深さは、シートの厚みに対して2/3程度としてください。

※ジョイント箇所は、溶接後の水掃けを考慮しエンボスの一番低い部分でジョイントしてください。

●熱風溶接

専用溶接機ライスターを使用して目地部分を溶接します。

※熱風の温度が高すぎると、ジョイント周辺のシート表面が溶解し、ツヤが出る場合がありますので十分に注意してください。

●余剰部分カット

溶接棒が十分に固まった状態でスパトラナイフなどを用いて余剰分をカットします。

※溶接棒が固まる前にカットすると、後に溶接棒がヤセ、凹みとなる場合がありますので十分に注意してください。

9. 端部仕上げ

ノンスキッドの端末には、専用シール材であるWPシール・HSシールを充填して処理してください。

●シーリング部の確認

シーリングを施す面が、ゴミや埃などによって汚れていないかを確認してください。汚れている場合は清掃し、また湿気のある場合は十分に乾燥させてから作業を行ってください。

●プライマー塗布

WPプライマー (BB-613)を下地に塗布してください。その上で十分に乾燥させてから次の工程に移ってください。

●マスキング処理

仕上がりを美しくするために、シーリング部分にマスキングテープを貼りマスキング処理をしてください。

●充填と仕上げ

気泡を取り込まないようにシーリング面に均一になるように充填し、充填後は平らになるようにヘラで整えてください。ヘラ仕上げの際に、気泡の取り込みによりへこみが生じた場合は、すぐにシール材をやや多めに充填し、再びヘラで仕上げてください。最後にマスキングテープを剥がしてください。その際テープに付いたシール材で床を汚さないように注意してください。



10. 養生

施工完了後、床材の浮き、膨れ、剥がれ、突き上げなどの不備や接着剤による汚れがないかを確認します。施工後の汚れや破損を防止するため、必要に応じて養生シートなどで保護してください。また、シール剤が完全に硬化するまでは、シール部分を踏んだり、ブラシなどでの清掃はお避けください。接着剤が完全に乾燥固化するまでは、突き上げ・目隙・膨れなどを発生させる恐れがあるので、重量物などのキャストによるしごきは避けください。

ノンスキッド・ステップ(踏み面タイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。
※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。

2. 蹴上げ部用のシート裁断

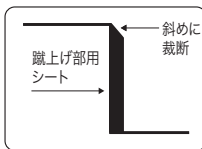
※2~4は蹴上げ部シートを施工する場合のみ。
階段蹴上げ部の幅、高さを測定し、蹴上げ部用シートの長手方向が階段蹴上げの幅方向となるように裁断してください。

3. 蹴上げ部への接着剤の塗布

階段蹴上げ部にWG(BB-601~603)を塗布してください。
※オープンタイムは10~15分程度が目安です。

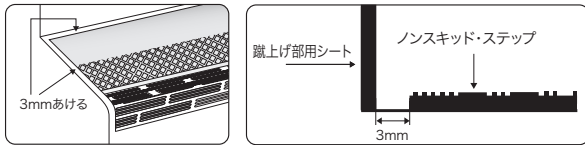
4. 蹴上げ部用のシート貼り付け

貼り付け後はハンドローラーなどで十分圧着してください。
蹴上げ部用シート上端部は斜めに裁断してください。



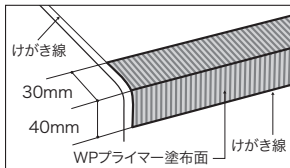
5. ノンスキッド・ステップの裁断

踏み面部の幅、奥行きを測定し、シール剤(端部処理剤)の仕上げしろとして3mm程度短く裁断してください。
左右両端部をあけて施工する場合、あらかじめ下地にあける寸法をけがき、幅を測定してください。
階段に排水溝がある場合は、排水溝より5~15mm程度手前でノンスキッド・ステップを裁断してください。



6. 段鼻部下地へのプライマー処理

段鼻部の下地には、必ずプライマー処理を行ってください。

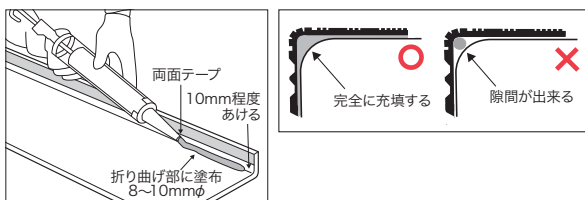


図の斜線部の下地に、WPプライマー(BB-613)をハケで均一に塗布し、30分程度乾燥させてください。
WPプライマー塗布面は、汚さないように注意してください。

7. ノンスキッド・ステップ段鼻裏面への接着剤の塗布

ノンスキッド・ステップ段鼻の裏面に、WPステップカートリッジ(BB-604)を8~10mmφの太さで、塗布してください。
両端より10mm程度内側まで塗布してください。
ノンスキッド・ステップを貼り付けるとき、段鼻裏面から蹴上げ部に接着剤が行き渡り、強固に接着出来ます。
※オープンタイムは10~20分程度が目安です。

WPステップを塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、段鼻部の亀裂や剥離が発生する場合がありますので、ご注意ください。

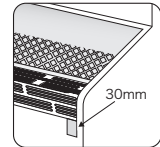


8. 踏み面部への接着剤の塗布

WG(BB-601~603)を踏み面部全体(段鼻部の前垂れ部は含まず)にくし目ゴテで塗布してください。
※オープンタイムは10~15分程度が目安です。

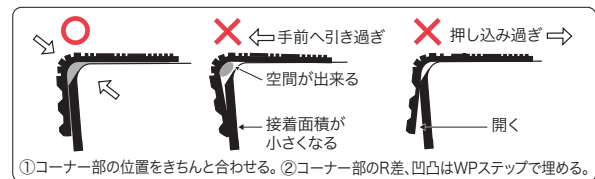
9. 両面テープ剥離紙の剥がし

ノンスキッド・ステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を30mm程度剥がしてください。



10. ノンスキッド・ステップの貼り付け

ノンスキッド・ステップの折り曲げ部分を階段の段鼻部に合わせ、折り曲げ部に空洞が生じないように貼り付けてください。



11. 圧着

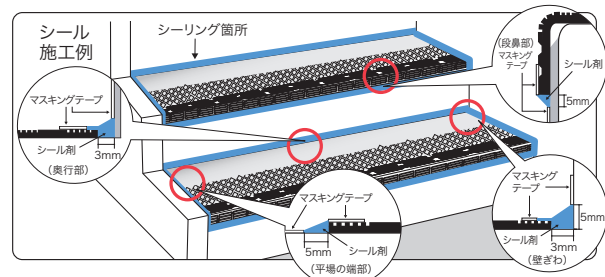
ノンスキッド・ステップの踏み面部をハンドローラーなどで圧着してください。
接着剤のはみ出し、商品の変形が発生する場合がありますので、段鼻部は圧着し過ぎないようにご注意ください。
剥離紙を全て剥がし、ローラーで圧着してください。

12. 継ぎ目処理

ノンスキッド・ステップとノンスキッドの継ぎ目は、接着剤が硬化してから、専用溶接棒を用いて熱溶接してください。

13. 端部仕上げ

ノンスキッド・ステップ蹴込みシート端部を、5mm幅程度に仕上げるようにマスキングテープで養生してください。
各種シール剤で周囲の端部をすべてシーリングします。
シーリング後、仕上げ用ヘラで仕上げ、マスキングテープを剥がします。



※ノンスキッド・ステップ(踏み面タイプ)のみの施工の場合です。蹴上げ部にシートを施工する際は、蹴上げ部両サイドもシーリングしてください。

14. 養生

清掃後、接着剤とシール剤が硬化するまで歩行を控えてください(48時間程度)。

特に、接着剤が硬化する前に段鼻部の角を踏まないようご注意ください。段鼻部が変形したまま接着剤が硬化しますと、剥離や亀裂が発生する恐れがあります。

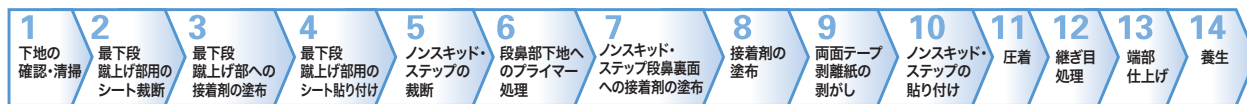
専用接着剤の標準塗布量

		910mm巾	1210mm巾
BB-602	WG10kg缶	110段/缶	82段/缶
BB-604	WPステップカートリッジ×2本セット	20段/セット	14段/セット
BB-613	WPプライマー400g缶	79段/缶	59段/缶

※踏み面の奥行き250mmを想定し算出しています。

ノンスキッド・ステップ(蹴込み一体タイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。
※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。

2. 最下段蹴上げ部用のシート裁断

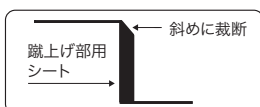
最下段の蹴上げ部の幅、高さを測定し、ノンスキッド・ステップを裁断して蹴上げ部用シートとして使用してください。
残った材料は最上段の踊り場で使用します。

3. 最下段蹴上げ部への接着剤の塗布

最下段の蹴上げ部にWG(BB-601~603)を塗布してください。
※オープンタイムは10~15分程度が目安です。

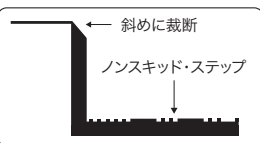
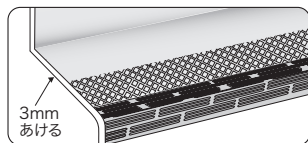
4. 最下段蹴上げ部用のシート貼り付け

貼り付け後はハンドローラーなどで十分圧着してください。
蹴上げ部用シート上端部は斜めに裁断してください。



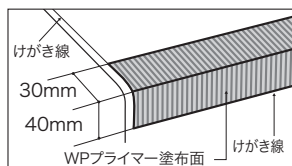
5. ノンスキッド・ステップの裁断

踏み面部の幅・奥行き、蹴上げ部の幅・高さを測定し、シール剤(端部処理剤)の仕上げるとして幅は3mm程度短く裁断してください。
左右両端部をあけて施工する場合、あらかじめ下地にあける寸法をけがき、幅を測定してください。
階段に排水溝がある場合は、排水溝より5~15mm程度手前でノンスキッド・ステップを裁断してください。



6. 段鼻部下地へのプライマー処理

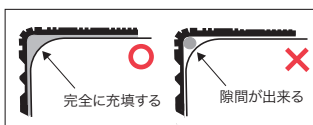
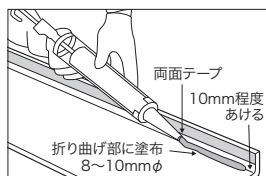
段鼻部の下地には、必ずプライマー処理を行ってください。



図の斜線部の下地に、WPプライマー(BB-613)をハケで均一に塗布し、30分程度乾燥させてください。
WPプライマー塗布面は、汚さないように注意してください。

7. ノンスキッド・ステップ段鼻裏面への接着剤の塗布

ノンスキッド・ステップ段鼻の裏面に、WPステップカートリッジ(BB-604)を8~10mmφの太さで、塗布してください。
両端より10mm程度内側まで塗布してください。
ノンスキッド・ステップを貼り付けるとき、段鼻裏面から蹴上げ部に接着剤が行き渡り、強固に接着出来ます。
※オープンタイムは10~20分程度が目安です。
WPステップを塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、段鼻部の亀裂や剥離が発生する場合がありますので、ご注意ください。

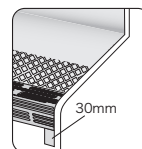


8. 接着剤の塗布

WG(BB-601~603)を、踏み面及び蹴上げ部全体(段鼻部の前垂れ部は含まず)にし目ゴテで塗布してください。
※オープンタイムは10~15分程度が目安です。

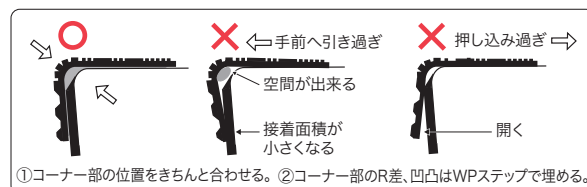
9. 両面テープ剥離紙の剥がし

ノンスキッド・ステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を30mm程度剥がしてください。



10. ノンスキッド・ステップの貼り付け

ノンスキッド・ステップの折り曲げ部分を階段の段鼻部に合わせ、折り曲げ部に空洞が生じないように貼り付けてください。



11. 圧着

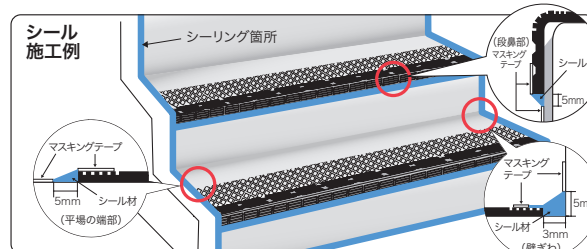
ノンスキッド・ステップの踏み面及び蹴上げ部をハンドローラーなどで圧着してください。
接着剤のみ出し、商品の変形が発生する場合がありますので、段鼻部は圧着し過ぎないようにご注意ください。
剥離紙を全て剥がし、ローラーで圧着してください。

12. 継ぎ目処理

ノンスキッド・ステップとノンスキッドの継ぎ目は、接着剤が硬化してから、専用溶接棒を用いて熱溶接してください。

13. 端部仕上げ

ノンスキッド・ステップ端部を、5mm幅程度に仕上げるようにマスキングテープで養生してください。
各種シール材で周囲の端部をすべてシーリングします。
シーリング後、仕上げ用ヘラで仕上げ、マスキングテープを剥がします。



14. 養生

清掃後、接着剤とシール剤が硬化するまで歩行を控えてください(48時間程度)。
特に、接着剤が硬化する前に段鼻部の角を踏まないようご注意ください。段鼻部が変形したまま接着剤が硬化しますと、剥離や亀裂が発生する恐れがあります。

専用接着剤の標準塗布量

		910mm巾	1210mm巾
BB-602	WG10kg缶	60段/缶	46段/缶
BB-604	WPステップ カートリッジ×2本セット	20段/セット	14段/セット
BB-613	WPプライマー400g缶	79段/缶	59段/缶

※踏み面の奥行き250mm、蹴上げの高さ200mmを想定し算出しています。

ノンスキッド・エアコン排水目地(一般タイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認

下地が平滑、堅牢で勾配は1/100以上あることを確認してください。

2. 取り付け位置の確認

室外機と排水ホースの位置を確認してください。

3. 排水目地の取り付け

排水目地(一般タイプ)とノンスキッドを接着剤で施工してください。

4. 継ぎ目処理

排水目地とノンスキッドは、溶接棒もしくはパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)でジョイントしてください。

※2口ホース受けの場合は継ぎ目処理の前に施工してください。

※右図のようにホース受け側面、先端部および先端裏面にパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)を塗布してから排水目地に設置してください。

5. 端部処理

シートと排水目地の端部をマスキングテープで養生し、WPシールもしくはHSシールで端部処理を行ってください。端部処理後にマスキングテープを取り除いてください。

※水の流れを妨げないように、排水目地の排水部分へのシールはお避けください。

6. ホース受けの取り付け

1口ホース受けを同梱の専用接着剤で排水目地にしっかりと固定してください。

ホース受け 1口 PXC-101~106

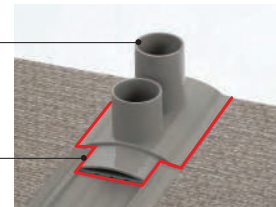
ホース受けと排水目地は同梱の専用接着剤で着します。



ホース受け 2口 PXC-311~316

ホース受け内径22mmφ
外径25mmφ

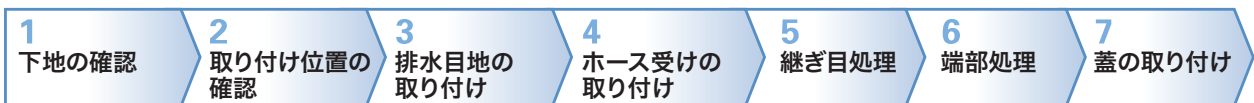
ホース受けと排水目地はパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)で着します。



※溶接棒の場合、接着部分と床材に光沢の差が生じることがあります。

ノンスキッド・エアコン排水目地(蓋付きタイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認

下地が平滑、堅牢で勾配は1/100以上あることを確認してください。

2. 取り付け位置の確認

室外機と排水ホースの位置を確認してください。

3. 排水目地の取り付け

排水目地(ベース)とノンスキッドを接着剤で施工してください。

4. ホース受けの取り付け

2口ホース受けを接着剤で施工してください。取り付けの際は、ホース受け側面、先端部および先端裏面にパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)を塗布してから排水目地に設置してください。

5. 継ぎ目処理

排水目地とノンスキッドは、溶接棒もしくはパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)でジョイントしてください。

6. 端部処理

シートと排水目地の端部をマスキングテープで養生し、WPシールもしくはHSシールで端部処理を行ってください。端部処理後にマスキングテープを取り除いてください。

※水の流れを妨げないように、排水目地の排水部分へのシールはお避けください。

7. 蓋の取り付け

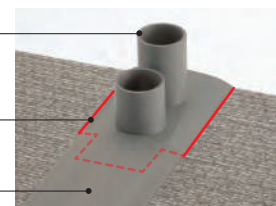
排水目地(蓋)を適切な長さにカットして取り付けます。取り付けの際は排水目地(ベース)片側のかみ合わせ部に排水目地(蓋)をひっかけ、もう一方のかみ合わせ部に軽く押し込むようにして取り付けてください。

ホース受け 2口 PXC-411~416

ホース受け内径22mmφ
外径25mmφ

ホース受けと排水目地はパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)で着します。

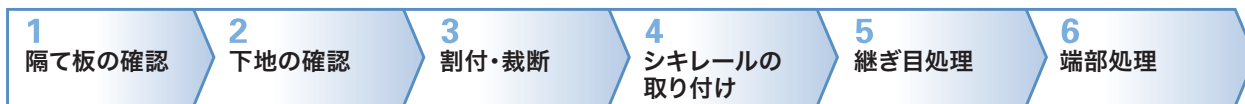
蓋が取り外せるため
お手入れがかんたんです。



※溶接棒の場合、接着部分と床材に光沢の差が生じることがあります。

シキレール施工方法

基本手順



1. 隔て板の確認

隔て板の枠材と床面との隙間が30mm以上あることを確認してください。30mm未満の場合、施工ができません。

2. 下地の確認

下地が平滑、堅牢であり、勾配が1/100以上あることを確認してください。

3. 割付・裁断

シキレールと隔て板の中心が合うように割付てください。
住戸側壁面の端部シール処理作業のため、住戸側端部の立ち上がり部分を20mm程度切り取ってください。
※立ち上がり部分を折り曲げたり、力を加えたりしないでください。
変形や破損の原因となります。

4. シキレールの取り付け

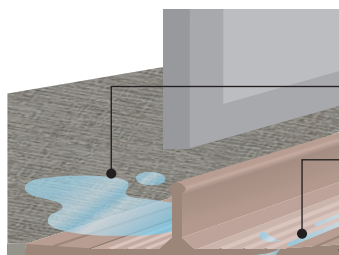
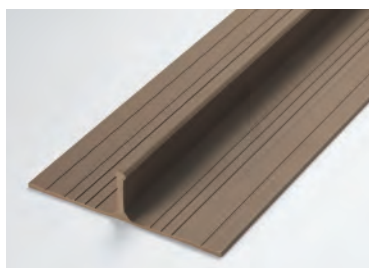
下地に接着剤を塗布し適切なオープンタイムを取り、シキレールとノンスキッドを貼り付け、十分に圧着してください。シキレールを貼り付ける際は端部カットした方を住戸側壁面に向けて施工してください。

5. 継ぎ目処理

接着剤が硬化してから、継ぎ目をU字にカットし、専用の溶接棒を用いて溶接棒を熱溶接処理してください。

6. 端部処理

側溝側および住戸側の端部をマスキングテープで養生し、WPシールもしくはHSシールで端部処理を行ってください。
※水の流れを妨げないよう排水部分へのシールはお避けください。



Point

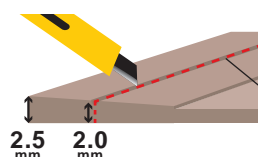
隣接住戸への水の侵入を防げます

ガイドラインが水の流れを助けます

特許登録済 /
2.5mm厚・2.0mm厚
どちらにも対応できます

特許登録済

シキレールは2.5mm厚ノンスキッドとの組み合わせを標準としていますが、2.0mm厚ノンスキッドと組み合わせることもできます。2.0mm厚ノンスキッドと組み合わせる場合はシキレールにV溝を設けていますので、V溝に沿ってカットしてご使用いただくことでシキレールの厚みが2.0mm厚となります。



ノンスキッド 2.5mm 厚の場合

切らずにそのままお使いいただけます。

ノンスキッド 2.0mm 厚の場合

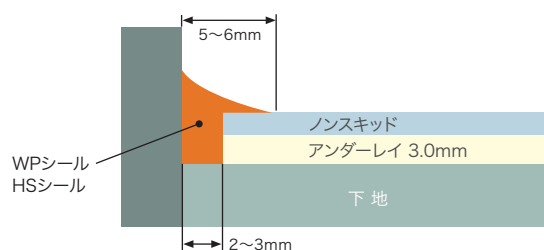
V溝に沿ってカットして
お使いいただけます。

ノンスキッドアンダーレイシート端部施工方法

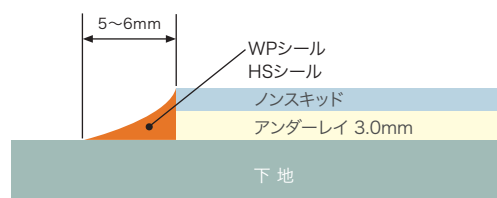
ノンスキッドアンダーレイの端部処理例

必ず四方のシール処理を行ってください。

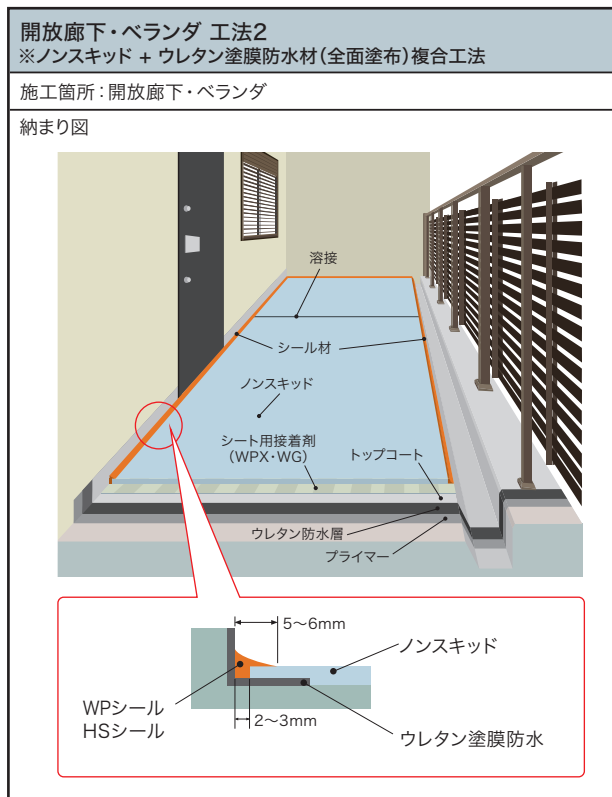
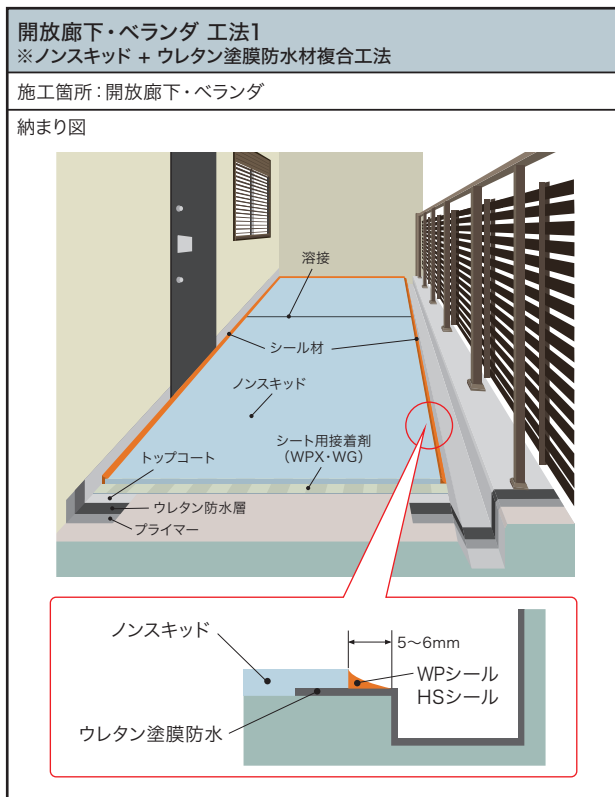
壁際のシール仕上げ



側溝側のシール仕上げ



ノンスキッド施工納まり図

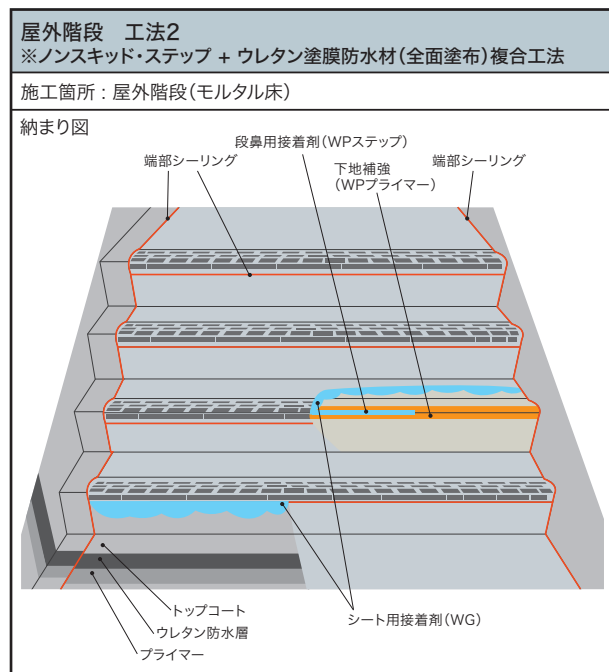
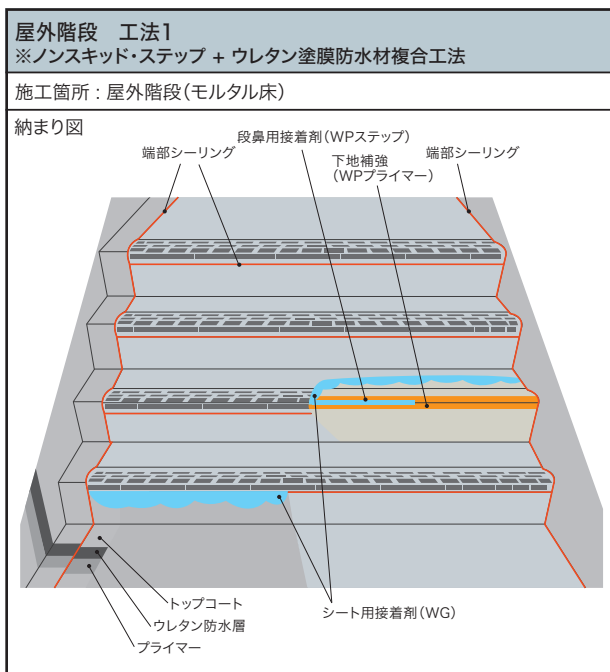


各工法の概要 (開放廊下・ベランダ床工法)

工程	材料	標準使用量 (※1)	間隔時間	施工用具
1	下地調整	施工面のケレン・清掃を行い、既存床の油脂汚れなどを十分清掃する。 床面の不陸などがある場合は、補修をして平滑に仕上げる。		
2	塗膜防水 (※3)	ウレタンゴム系塗膜防水材 JIS A 6021適合品とし、材料・工法は各メーカーの仕様とする。		
3	接着剤塗布	約0.35kg/m ²	オープンタイム 10~20分(※2)	床用ヘラ
4	シート貼り		貼付可能時間 40~60分(※2)	床用ローラー
5	継ぎ目処理			専用溶接機
6	端部仕上	約0.02kg/m	端部仕上後 2~3日養生	カートリッジ

- 【注意事項】** ※1. 施工状況により若干異なることがあります。
 ※2. 間隔時間は、施工時の環境により異なります。シート施工後は2日間養生してください。
 ※3. 塗膜防水によっては、接着剤の密着性が発揮出来ないものがありますのでご注意ください。

ノンスキッド・ステップ施工納まり図



各工法の概要 (屋外階段床工法)

工程	材料	標準使用量 (※1)	間隔時間	施工用具
1	下地調整	施工面のケレン・清掃を行い、既存床の油脂汚れなどを十分清掃する。 床面の不陸などがある場合は、補修をして平滑に仕上げる。		
2	塗膜防水 (※4)	ウレタンゴム系塗膜防水材	JIS A 6021 適合品とし、材料・工法は各メーカーの仕様とする。	
3	接着剤塗布	ウレタン樹脂系溶剤形 (WPステップ・WG)	約0.4kg/m ²	オープンタイム 10～20分(※2) カートリッジ 床用ヘラ
	下地補強 (段鼻部分)	ウレタン樹脂系溶剤形 (WPプライマー)	約0.1kg/m ²	オープンタイム 30分以上(※3) 床用ハケ
4	シート貼り	階段用防滑性ビニル床シート(ノンスキッド・ステップ)	貼付可能時間 30～45分(※2)	床用ローラー
5	継ぎ目処理	専用溶接棒		専用溶接機
6	端部仕上	ウレタン樹脂系 (WPシール) 変成シリコン樹脂系 (HSシール)	約0.02kg/m	端部仕上後 2～3日養生 カートリッジ

【注意事項】 ※1. 施工状況により若干異なることがあります。

※2. 間隔時間は、施工時の環境により異なります。ノンスキッド・ステップ施工後は2日間養生してください。

※3. オープンタイムが長すぎると汚れが付着し、プライマー効果も薄れるため、30分経過後は早めに施工してください。

※4. 塗膜防水によっては、接着剤の密着性が発揮出来ないものがありますのでご注意ください。

ノンスキッド、ノンスキッド・ステップ、副資材組み合わせ一覧表

ノンスキッド	ノンスキッド ステップ	シーラント		排水目地		ホース受け			シキレール
		WP シール	HS シール	一般タイプ	蓋付きタイプ	1 口	2 口 一般タイプ専用	2 口 蓋付きタイプ専用	
PX-210	—	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-211	—	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-212	—	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-220	—	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-221	—	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-201	—	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-202	—	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-203	—	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-230	—	BB-565	BB-574	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-231	—	BB-570	BB-564	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-590	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-591	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-570	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-571	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-572	PX-5721～5724	BB-568	BB-563	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-530	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-531	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-532	PX-5721～5724	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-550	—	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-610	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-611	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-612	PX-8921～8924	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-613	PX-8931～8934	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-881	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-882	PX-8911～8914	BB-566	BB-562	PXD-303	PXD-413	PXC-103	PXC-313	PXC-413	PXS-102
PX-883	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-801	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-802	PX-8911～8914	BB-566	BB-562	PXD-303	PXD-413	PXC-103	PXC-313	PXC-413	PXS-102
PX-803	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-804	PX-8691～8694	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-820	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-821	PX-8911～8914	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-822	PX-8921～8924	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-870	PX-8921～8924	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-871	PX-8931～8934	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-810	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-811	PX-8681～8684	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-812	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-813	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-815	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-816	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-840	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103

※近似色での推奨品番となります。

ノンスキッド、ノンスキッド・ステップ、副資材組み合わせ一覧表

ノンスキッド	ノンスキッド ステップ	シール剤		排水目地		ホース受け			シキレール
		WP シール	HS シール	一般タイプ	蓋付きタイプ	1口	2口 一般タイプ専用	2口 蓋付きタイプ専用	
PX-841	PX-8681～8684	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-842	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-751	PX-5721～5724	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-752	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-753	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-951	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-952	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-953	PX-5721～5724	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PM-981	PX-8691～8694	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	—
PM-982	PX-8681～8684	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	—
PM-983	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	—
—	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	—	—	—	—	—	—
—	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—
—	PX-5721～5724	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—
—	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	—	—	—	—	—	—
—	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	—	—	—	—	—	—
—	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	—	—	—	—	—	—
—	PX-8681～8684	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—
—	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	—	—	—	—	—	—
—	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	—	—	—	—	—	—
—	PX-8921～8924	BB-569	BB-555	—	—	—	—	—	—
—	PX-8931～8934	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—

※近似色での推奨品番となります。